

令和6年度第1回笛吹市スポーツ推進審議会 議事録

開催日時：令和7年1月23日(木) 午後7時00分～8時00分

開催場所：笛吹市役所市民窓口館3階 302・303会議室

出席者：川崎委員、深山委員、田中委員、小宮山委員、猪股委員、廣瀬委員、

須田委員、渡辺委員

望月教育長、太田教育部長

荻原生涯学習課長、稲葉課長補佐、中村副主幹、岩澤主事

欠席者：山口委員

傍聴人：なし

次第

【司会進行 荻原課長】

1 開会のことば

太田教育部長

こんばんは。本日はお仕事の後という時間帯ですが、参加いただきありがとうございます。お手元の次第にありますとおり、本日は委嘱状の交付と議事があります。御審議の程よろしくお願ひします。

それではただいまより令和6年度第1回笛吹市スポーツ推進審議会を始めます。よろしくお願ひします。

(開会後、スポーツ推進審議会について事務局から説明)

2 委嘱状交付

望月教育長

今回関係団体の役職の方が、変更となっています。

教育長が委嘱状の交付を行いますので田中委員におかれましてはその場にて御起立をお願いします。

委嘱状交付

3 教育長あいさつ

改めましてこんばんは。大変お忙しい中、またお疲れのところお集まりいただき誠にありがとうございます。このスポーツ推進審議会は、スポーツ基本法に基づき、市に設置された諮問機関ということです。委員の皆様にはスポーツに関する知識や経験を生かして本市のスポーツ推進について御審議等をお願いすることになります。ぜひお力添えをいただきますよう、よろしくお願ひします。

本日は本年度第1回のスポーツ推進審議会です。本市におけるスポーツ関

係事業の取り組みなどについて事務局から説明があります。今年度に市がどのような取り組みを展開してきたのか、またどのようにスポーツの充実を図っているのか、また、図ってきたのかということについて御理解をいただき、御意見をいただければと思います。また、現在国が進めております中学校の部活動の地域移行という大変大きな課題もございます。本市においても検討委員会を設置し、移行にあたっての課題、あるいはどのような方向性で進めていくのかということで現在検討を進めています。いずれにしても子供たちにとって望ましいスポーツ、文化芸術環境、そういういったものを整備していくことが使命だというふうに思っておりますので今後とも検討の方を深めていきたいと思いますのでぜひお知恵をいただければと思います。今後も御協力の程お願いします。簡単ですけれども、挨拶に換える次第です。本日はよろしくお願いします。

4 委員紹介

出席委員全員

5 職員紹介

出席職員全員

6 会長あいさつ

(会長)

短時間で終わりたいと思います。よろしくお願いします。ここで一つ、御披露します。副会長の深山礼さんにおかれましては、過日、1月7日の笛吹市新春交換会において、文部科学大臣賞の受賞報告がありました。この場をお借りして、報告します。

(深山副会長)

文部科学大臣賞をいただきました。大変光栄な賞で本当に私なんかという思いがいっぱいです。スポーツ推進委員として、まもなく17年、丸く終わるところになります。こちらにいますスポーツ推進委員の小宮山さん、雨宮さんを初め、多くの方々に支えられて御指導いただきながらここまでやってきました。まだまだ未熟なところばかりですが、今後とも皆様にいろいろ教えていただきながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

7 議事

(1) 令和6年度笛吹市におけるスポーツ推進事業について
事務局から説明。質疑なし。

今年度も本市では令和3年9月に策定しましたスポーツ推進計画により、「する・見る・支える」という観点から、多くの市民の方々にスポーツへの

参加の機会を提供し、健康維持と体力向上を図ることを目的とし事業を展開しています。

まずは、スポーツ振興事業として、教室開催や補助金の交付事業を実施しています。

一つとして（1）運動能力向上教室「ランクリニック」は、小学校の子ども達が速く走るという運動の基本動作を学び、様々なスポーツの楽しさと素晴らしさを伝えることを目的として、令和4年度から一般社団法人ヴァンフォーレレスポートクラブへ業務委託を行い、ヴァンフォーレ甲府のフィジカルコーチの方にお越しいただき、小学生を対象に走り方に特化した教室になります。

令和6年度は5校で実施し、参加者数は265名となり、この事業は子どもたちや学校から大変人気があり、参加者数が増加している状況です。

続いて（2）笛吹市スポーツ講演会等開催補助金交付事業になります。これは、市民の誰もがスポーツに親しみ、楽しむ機会となることを目的として世界的なアスリートを講師として講演会を実施する、公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団に、その経費分について補助金を交付する事業になります。

過去は、令和4年度はサッカーの大久保嘉人選手、令和5年度はスピードスケートの小平奈緒選手の講演会を実施し、今年度は、オリンピック卓球競技3大会連続メダリストの石川佳純選手を講師として、今回は講演会のみではなく卓球のスポーツ少年団や卓球協会、中学生と一緒に実技の部分も対応していただくような形式で講演会・講習会を、多数の参加申し込みをいただく中で盛大に実施しました。

続いて（3）ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）研修会となります。この研修会は、市のスポーツ推進委員の皆様にも御協力いただき実施しています事業となり、本研修は市内のスポーツの指導者や小中学校の教師を対象として、ACPの指導者研修を行い、日頃の指導及び授業の中で活用していただき、市内の子どもたちの健全な発達に寄与することを目的としています。

令和5年度は2月25日に若彦路ふれあいスポーツ館体育館で実施しましたが、研修を行うにはとても寒い環境であったため、今年度はスコレーセンター集会室で実施します。

なお、ACPプログラムは、子どもたちが発達段階のうちに身につけておくことが望ましい動きを習得するプログラムとなっていて、昔に比べ、現代の子どもたちは、外で遊んだりするようなことが減っている中で、様々なスポーツ等に携わる機会を作り、うまく指導する中で、スポーツの楽しさを効率

的に学び、運動機能を習得するプログラムとなっております。

続いて（4）JFA こころのプロジェクト夢の教室事業となります。

この教室は、様々な競技の現役選手やOB、OGなどの選手の方が「夢先生」となり、夢を持つこと、それに向かって努力することの大切さや、仲間と協力することの大切さなどを、夢教室を通じて子どもたちに伝えていただく事業となっています。

令和6年度は、リオデジャネイロオリンピックの水泳男子のフリーリレーの銅メダリスト江原騎士選手を夢先生として、一宮北小学校の生徒9名を対象に実施をしました。

スポーツ推進事業としては以上の4本になります。

その他、市が主催共催として行っているスポーツイベントとして、4月に行っている笛吹市桃の里マラソン大会では、福士加代子さんをゲストランナーとして、4月7日（日）に2560人のランナーに参加いただき実施しました。

続いて、笛吹市桃源郷春まつり全国ゲートボール大会です。4月13日（土）、14日（日）の土日にかけ、71チーム397名のプレイヤーに全国から参加いただき、盛大に開催しました。

このゲートボール大会は、以前は参加チームが100チームを超える大規模の大会でしたが、最近のゲートボール人口の減少もあり、継続していくことが難しい状況となり、来年度の4月に開催される第20回大会をもちまして最後の大会の予定となっています。

続いては全国体力運動能力調査です。

本調査は国からの委託事業になり、市のスポーツ推進委員の協力をいただく中で、今年度は9月18日（水）と22日（日）の2回に分けて実施し、市民45人の参加をいただき、県・国へ調査報告を行いました。

続いては、スポーツ推進委員会の関連事業になります。

まずは、スポーツフェスティバルですが、9月22日（日）に笛吹みんなの広場で開催された世界農業遺産イベントの会場内で実施する予定でしたが、悪天候により、中止になりました。

次の事業は、県内のスポーツ推進委員会が11月に一斉に行う輪投げイベントです。本市では11月4日の川中島合戦戦国絵巻会場において実施し、377名の方に体験していただきました。

もう一つの事業は第17回笛吹市市民ウォークです。

本事業は、市民を対象に12月1日（日）に開催し、31名の方に御参加いただき、怪我なく無事に開催しました。

続いては、スポーツ施設にかかる改修事業を説明します。

まずは、石和中央テニスコートの砂入り人工芝張り替え工事です。昨年の6月から工事の方を進め、張り替え工事等の工期は1月末になります。

なお、附帯工事の工期は3月末までになり、4月から貸し出しを再開する事になっています。

次に設計業務として LED 化も含めた境川スポーツセンターの特定天井他改修の設計と、いちのみや桃の里スポーツ公園の空調設備更新の設計を委託で進めています。また、石和清流館の大規模な改修工事の基本設計の業務委託は、2月発注予定になっています。

以上、説明とします。

(2) 部活動の地域移行について

事務局から説明後、質疑応答を行った。

部活動の地域移行については、学校の部活動では支えきれなくなっている中学生のスポーツ、文化芸術の活動について、将来に渡り、子どもたちがスポーツ文化芸術活動に継続して親しむことができるよう今後、学校部活動を地域の地域クラブにその活動を移行するというものになります。

この背景として、少子化に伴い生徒数が減る中で、部活動の数も減少傾向にあり、学校部活動の維持が困難になる状況があります。これについては、資料9番部活動の地域移行の背景というところに記載があります。

笛吹市でも少子化の流れは全国と同様の状況であり、中学校の生徒数は減少しています。令和元年度は市内の中学校の生徒数が 1,683 名でしたが、令和 5 年度は市内中学生生徒数が 1551 人で、5 年間でマイナス 7.8%、減少しております。令和 15 年度に中学生になる見込みの生徒数に関しては、1,381 人で、令和 5 年度に対し、さらにマイナス 10.9% 減少することが予想されます。

生徒数の減少に伴い、市内の中学校部活動の生徒数も減少し、令和 5 年度の運動部で活動する生徒数は、1,109 人でマイナス 10.4% という形になっています。

令和元年度と令和 5 年度を比較しますと、市内の中学校でも運動部に関して二つの中学校で 1 部ずつ減少しており、文化部に関しても一つの中学校で 1 部減少している状況にあります。

もう一つの背景として、学校の先生の働き方改革という観点です。

総授業時間数の増加などによる教員の多忙化などが課題となる中で、部活動の指導が休日を含めて先生方の長時間勤務の要因となっているとともに、専門性がない部活の顧問を担うことが大きな負担になっている状況

です。

については、令和2年9月に文科省の方から、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の中で、改革の方向性として、部活動の指導は必ずしも学校の教師が担う必要がないとの考えのもと部活動改革の一つとして、休日に教員が部活動指導に携わる必要がない環境を構築することという考え方が示されました。

ただ、学校部活動というのは生徒がスポーツ文化・芸術に親しむ機会となるとともに人間関係の構築の場、生徒の自主的・主体的な参加による活動を通じた責任感や連帯感の涵養など、部活動が担っていることも事実であります。

この地域移行に関しては、令和5年度の審議会で話をしましたが、国は、令和4年の12月に学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合ガイドラインが策定され、まずは休日における地域スポーツ・文化芸術の環境整備を推進していくことで、令和5年度から令和7年度の3年間を改革推進期間として、地域の実情に応じて早期に地域クラブ活動の移行を目指すことが示されました。

山梨県でも国のガイドラインを踏まえる中で、令和5年12月に「やまなし学校部活動及びやまなし地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン及びやまなし地域クラブ活動の体制整備に関する手引き」を策定し、まずは休日から部活動地域移行を進めていくことが定められています。

本市でもそのような流れの中、「地域の子どもは地域で育てる」という意識のもと、地域と連携する中で、生徒が継続して多様なスポーツ・文化芸術活動に親しむことができる地域クラブ活動に移行を進めるため、令和6年1月に、学校や保護者、スポーツ団体、文化団体などの代表者で構成する笛吹市中学部活動地域移行検討委員会を設置し、検討を進めているところです。第1回の検討委員会を令和6年の1月に開催し、その後3月、7月、9月と3回開催し、地域移行に係る各項目の方向性について御意見御検討をいただきました。

検討委員会での検討状況に関しては市ホームページで閲覧できます。

なお、部活動の地域移行について県の方向性として示されているものの中で、令和8年度には、少なくとも一つの地域クラブ活動を各市町村で実施を目指すことが示されております。

笛吹市においても年度内に検討委員会で方向性を定め、次年度には協議会の立ち上げを行い、令和8年度には少なくとも一つの実証事業を取り組んでいく方向性で進めています。

質疑応答

(猪俣委員)

意見ですが、現状、各学校で部活動として成り立っている部もあります。例えばラグビーなどの季節部や複数中学校の生徒が集まって合同で活動している合同部活動については積極的に地域移行していただければありがたいなと思っています。

また、複数部活動の顧問を掛け持ちしている先生もいるため、大会に出るとなると今は、それぞれの大会に引率をしなければいけないことになるので、それが地域クラブに移行となれば、その地域のクラブの方々が連れて行ってくれるので、先生たちは負担軽減になるのかなと思っています。

他の競技についても、例えばサッカーは、笛吹市を今二つに分けて、自分たちで練習をしているスタイルにもなっているので、徐々に地域移行へ移行できるような雰囲気にはなっているのかなと思いますが、なかなか現実的にどうかというと、まだまだ難しい部分があるのかなと思います。

その他委員から質疑なし。

ありがとうございました。

9 その他

(事務局)

市スポーツ推進計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間の計画となっています。来年度が見直しの年度になっておりますので、皆様に御意見をいただきながら、進めることになりますので、御理解、御協力をよろしくお願ひいたします。

10 閉会のことば

深山副会長

皆さんお疲れのところお集まりいただきましてありがとうございました。
会長の目標どおり1時間を切って終了することができました。
これも皆様の御協力のおかげです。ありがとうございました。

中学校部活動地域移行については、地域の皆さまの間で話題にはなっていますが、今日お聞きした限りでもなかなか課題が多く、進めていくには時間がかかるのかなという感じを受けました。子どもたちがスポーツをする環境がより良くなるように、また部活の意義が失われないように進めていければと思います。本日はお疲れ様でした。以上をもちまして令和6年度第1回笛吹スポーツ推進審議会を終了とします。お疲れ様でした。

午後 8 時 00 分